

府市町村保健師協議会 30周年記念事業を開催

府市町村保健師協議会 30周年記念事業



府市町村保健師協議会 30周年記念事業は2月27日（金）、府国保連合会に約90名の保健師が集まり開催された。

橋本城陽市長による祝辞



開会にあたり、同協議会の霜山美穂会長は会員数が増加傾向にあり、これからも同協議会が会員の活動に対して有意義であるためにより一層の努力をしたいと挨拶。続いて顧問である中原俊隆京都大学医学部公衆衛生学教室教授が挨拶した。また来賓の山田啓二府知事（和田健府健康福祉部長代読）及び府市長会副会長の橋本昭男城陽市長は、祝辞として保健師の需要が高くなる中で保健師の活躍に対する期待と、日常活動で地域保健への貢献に対する感謝を述べた。

座談会では八幡市の藤井裕子保健師、城陽市の稲川なをみ保健師、京丹後市の鬼束良子保健師並びに古谷千津子保健師を迎えた。「保健師活動を振り返って今思うこと」をテーマに、25年を越えるキャリアの中で保健師になったきっかけや印象に残った事業、保健師を続けるコツ、後輩へのメッセージ等を語った。

午後からは、「ホット一息 お茶を飲みながら交流会」と題して、同年代かつ配属先が同じ



交流会での意見交換

で ー を り、 ー で にお いの活動 や 題等について意 交 を
した。

記念 では、 京大学大学 会 の 千
子教授が「保健師の 」と題して を なった。

の高 が増加傾向にある今日、 な について
アする の と アされる の を し、これからの
福祉のあり を した。

加 から「 な を けて、交流もできたのでこれか
らの活動の となった。」「 を いてよい になっ
た。」との感 が られた。



講演をする上野教授